

# 子どもの支援の基本

## 障害とは？

京都市放課後等デイサービス支援事業研修

児童発達支援センター 洛西愛育園  
大橋良輝

# 放課後等デイサービスガイドライン

放課後等デイサービスは、支援を必要とする障害のある子どもに対して、学校や家庭とは異なる**時間、空間、人、体験等**を通じて、**個々の子どもの状況に応じた発達支援**を行うことにより、子どもの**最善の利益の保障と健全な育成**を図るものである。

# 障害者基本法

## 第二条

障害者 身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害があるものであって、**障害**及び**社会的障壁**により継続的に日常生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。

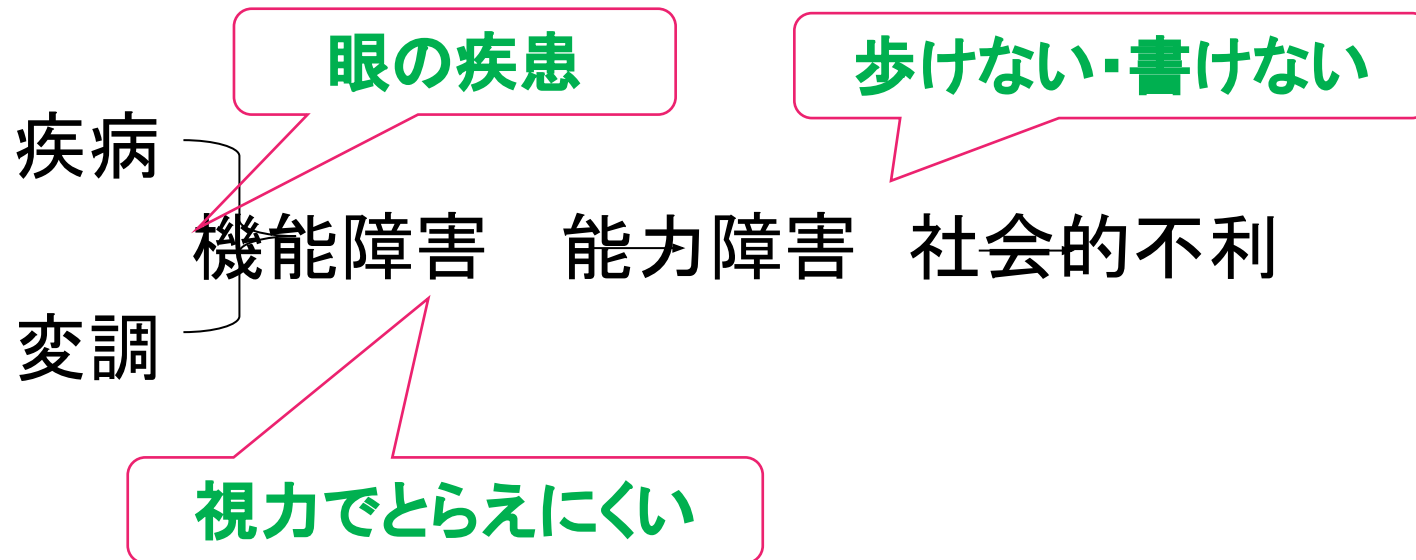
**社会的障壁** 障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、概念その他一切のものをいう。

# 障害概念と生活機能分類

1980年

WHO(世界保健機構)の「障害概念」

ICIDH



# 障害概念と生活機能分類

2001年

WHO(世界保健機構)の

「国際生活機能分類」(ICF)

眼の疾患

健康状態(変調または疾病)

目が見えない

歩けない・書けない

介助で外出

心身機能  
身体構造

活動

参加

筆記

環境因子

個人因子

・職場  
・親  
・経済  
友人がいる  
・地域  
・文化  
・友人等々

社交的

# 身体障害

先天的あるいは後天的な理由（主に、病気や事故の後遺症）で、身体機能の一部に障害を生じている状態状態。

- ・肢体不自由（脳内の**障害**による脳性麻痺など）
- ・聴覚・平衡機能**障害**
- ・視覚**障害**
- ・音声・言語又はそしゃく機能**障害**
- ・呼吸器機能**障害**
- ・内部**障害**など

# 肢体不自由

原因のいかんを問わず、四肢又は体幹の支持・運動機能のしょうがいを指す。学校教育上では、身体の動きに関する器官が、病気やけがで損なわれ、歩行や筆記などの日常生活動作が困難な状態。

- 筋肉系疾患（筋ジストロフィー等）
- 骨、関節系疾患（股関節脱臼・骨形成不全）
- 中枢性神経系疾患（脳性まひ等）
- 脊髄損傷、頭部外傷等



# 脳性まひ

〈定義〉受胎から新生時期（生後4週以内）までに生じた脳の非進行性病変に基づく永続的だが変化する運動および姿勢の異常

〈原因〉「黄疸」「仮死」「早産」

出生前因子（中枢神経系の奇形など）

〈病型〉痙直型（筋の痙直）

アトーゼ型（筋緊張の動揺・不随意運動）

# 神経筋疾患

## ◎進行性筋ジストロフィー

進行性の経過をたどる骨格筋の変性疾患  
様々な種類がある。

- ・デュシャンヌ型：X染色体劣性遺伝 男児のみ  
（3歳～6歳発症・平均IQ80～85）
- ・福山型：常染色体劣性遺伝  
（乳児期早期より筋力低下・筋緊張の低下。  
精神遅滞、脳形成不全）

# 中枢性障害の子どもへの関わりの留意点

- ・知的障害を合併することが多い。  
→発達に応じた関わり
- ・運動障害による社会的経験の制限・自発的活動の制限。  
二次的な精神発達遅滞。 →経験のさせ方
- ・日常生活での介助、援助が必要。母子分離しにくい等  
、依存した生活 →精神的自立
- ・移動の制限・言語障害のため共感関係が持ちにくい  
→楽しいことの共有。コミュニケーション機器や自助  
具の利用
- ・変形や拘縮への対応

# 知的しょうがい

- ・知的機能の障害が発達期(おおむね18歳まで)にあらわれ、**日常生活に支障**が生じているため、何らかの特別な**援助を必要**とする状態にある者。
- ・IQ70未満。

## 知能

- ・知能指数(IQ)  
(精神年齢(MA)/生活年齢(CA))×100

# 原因

- ・遺伝子・染色体異常(ダウン症・プラダーウィリー症候群)
- ・先天性感染症・中毒(アルコール・風疹)
- ・神経皮膚症候群(レックリングハウゼン病・結節性硬化症)
- ・先天性代謝異常(フェニールケトン尿症)
- ・神経・筋疾患(筋ジストロフィー)
- ・その他(コルネリア・デランゲ症候群・レット症候群)

# 知的しょうがいと生活年齢

- 精神年齢

検査等によって表される今の発達程度を導き出した年齢

- 生活年齢

毎日の中で様々な経験をし、人間関係を結び、そうした経験の積み重ねによって精神年齢は同じでも年齢の違いや一人一人の違いとなる。

# 関わりの留意点

- 発達状況を的確に把握する
- 能力を十分に発揮できる環境、課題を用意する
- 子どもが理解できる働きかけ
- 一度にいくつものことを言わない
- 望ましい行動を引き出す働きかけ
- ことばより「見て分かる」工夫
- 繰り返し、丁寧に教えることが大切

# 発達障害

- ・自閉症スペクトラム・注意欠如・多動症・学習障害
- ・子育て、躰の失敗や経験不足で生じるのではなく、生まれつきの脳機能のアンバランスさによるものといわれている
- ・行動のエピソードを集め、一定の行動パターンを見出せるかどうかで診断。



# 自閉症スペクトラム

- 対人的相互反応における質的しょうがい
- コミュニケーションのしょうがい
- 興味や行動の幅が狭く、反復的常同的である
- 3歳以前に発症